平成 30 年度

島根大学大学院医学系研究科
医科学専攻（博士課程）

学 生 募 集 要 項

入学案内

島根大学大学院医学系研究科

目　　次

ページ

アドミッション・ポリシー …… 1
カリキュラム・ポリシー …… 1
ディプロマ・ポリシー …… 1

学生募集要項

1 募集人員 …… 2
2 出願資格 …… 2
3 出願手続 …… 3
4 入試方法 …… 5
5 合格者発表 …… 5
6 入学手続 …… 5
7 入試成績の提供 …… 6

入学案内

1 目的 …… 7
2 修業年限 …… 7
3 大学院設置基準第14条による教育方法の特例 …… 7
4 専攻の概要並びに研究指導教員及び主たる研究内容 …… 7
5 履修方法 …… 14
6 学位授与 …… 14
7 長期履修制度 …… 14
8 入学料・授業料の免除及び徴収猶予制度 …… 15
9 奨学金制度 …… 15
10 学生教育研究災害傷害保険 …… 15
11 個人情報の取扱い …… 15

◆アドミッション・ポリシー◆

島根大学が推進する地域基盤型教育と地域課題解決型研究に積極的に参加し，医学に求められる高度な専門知識・技術及び世界に通用する研究能力を備えた医師／医学研究者を目指す意欲にあふれる学生を求めています。

そのため，医科学専攻博士課程の教育を受けるのにふさわしい医学，医療，医科学の基礎知識と応用力及び英語の基礎学力とプレゼンテーション能力ならびに高い倫理観を備え，かつ明確な目的意識を持ち自ら考え行動できる学習意欲の高い学生を受け入れます。

◆カリキュラム・ポリシー◆

医科学の分野において世界に通用する医学研究者を養成することに加えて，研究マインドを併せ持った優れた臨床医を養成することが社会的に強く求められるようになっています。本課程は，研究者育成コースの他に，このような社会的要請に応える目的で，高度臨床医育成コースなど臨床医向けの特色あるコース等を設定し，学生のニーズに応じた科目選択が可能な教育課程の編成を基本方針としています。

◆ディプロマ・ポリシー◆

本課程に所定の期間在学し，修了に必要な単位を修得し，以下の能力・資質を習得し，かつ，必要な研究指導を受けた上で学位論文の審査及び最終試験に合格した学生に対して修了を認定し，博士(医学）の学位を授与します。

高度臨床医育成コース及び地域がん専門医育成コースの場合は，所属分野の専門医（又は認定医）の取得が必要となります。

1．自己の研究に関連する分野を中心にした医学，医療，医科学の高度で幅広い専門的知識を習得している。
2．医学，医療，医科学に対する社会的ニーズを踏まえた学術的意義，創造性等を有する研究を，高い倫理性を備え，社会への責任感を持って遂行できる。
3．国際的視野とコミュニケーション能力を有し，自己の研究成果を国内外の学会等で発表し，学術雑誌等において当該研究分野または社会に貢献する論文を執筆できる。

学 生 募 集 要 項

1　募　集　人　員

医科学専攻博士課程　　30人

2　出　願　資　格

⑴　一般入試

次の各号のいずれかに該当する者とします。

（平成30年３月末日までに該当する見込みの者を含む。）

①　大学の医学，歯学又は修業年限が６年の薬学若しくは獣医学（以下「医学等」という。）を履修する課程を卒業した者

②　外国において，学校教育における18年の課程（最終の課程は，医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者

③　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は，医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者

③の２　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が５年以上である課程（最終の課程は，医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者

④　文部科学大臣の指定した者

イ　旧大学令（大正７年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し，これらの学部を卒業した者

ロ　防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者

ハ　修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期２年及び後期３年の課程の区分を設けない博士課程に２年以上在学し，30単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第９号）第６条第１号に該当する者を含む。）で大学院において，大学の医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

ニ　大学（医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し，又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において２年以上研究に従事した者で，大学院において，当該研究の成果等により，大学の医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

⑤　医学等を履修する課程に４年以上在学し，又は外国において学校教育における医学等を履修する課程を含む16年の課程を修了し，大学院において，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

⑥　大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，24歳に達した者

(注意)

１．④のハ，ニ及び⑤，⑥に該当する者は，事前に出願資格審査を行いますので，平成29年８月16日(水)までに医学部学務課（出雲キャンパス）に相談してください。

２．外国の大学を卒業した者は，事前確認を行いますので，平成29年８月16日(水)までに医学部学務課 (出雲キャンパス) に相談してください。

⑵　**社会人入試**

前記⑴の各号のいずれかに該当し，入学時に医療関連分野等に１年以上勤務している者又は勤務見込みの者とします。

【例】卒後臨床研修１年目を終了した者あるいは，終了見込みの者も出願が可能です。

3　出　願　手　続

⑴　**出願受付期間**

出　　願　　期　　間
平成29年８月28日(月)から９月１日(金)まで。 窓口受付は９時から17時まで。 なお，郵送による場合も９月１日(金)必着とします。

⑵　**出願方法**

出願書類は一括して提出してください。郵送の場合は**「特定記録」**とし，封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きしてください。

なお，出願に際しては，あらかじめ研究指導を希望する担当教員に照会の上，出願してください。

担当教員に関することについては，⑶の「照会先」へ問い合わせてください。

⑶　**出願書類等提出及び照会先**

〒693－8501　出雲市塩冶町89－1
島根大学医学部学務課入試・大学院担当
電話　0853－20－2083
E-mail　msa-daigakuin@office.shimane-u.ac.jp

⑷　**出願書類等**

	提　出　書　類	摘　　要
①	入　学　志　願　票	本要項添付の用紙に記入してください。
②	受験票・写真票	本要項添付の用紙にそれぞれ氏名を記入の上，写真（上半身，無帽，正面向きとし，出願前３か月以内に撮影したもの）を所定欄に貼付してください。
③	成　績　証　明　書	大学の成績証明書で，出身大学（学部）等の長が作成し厳封したものとします。 本学医学部を卒業した者及び平成30年３月卒業見込みの者は，本学部内で発行手続を行いますので提出を要しません。 大学院修士課程修了者は，大学の成績証明書の他に大学院の成績証明書(当該研究科の長が作成し厳封したもの）を提出してください。 なお，平成30年３月学部卒業（又は修士修了）見込みの者は，出願時点での成績証明書とします。

④	卒業証明書等	大学の卒業証明書で，出身大学（学部）等の長が作成し厳封したものとします。 本学医学部を卒業した者及び平成30年３月卒業見込みの者は，本学部内で発行手続を行いますので提出を要しません。 大学院修士課程修了者は，大学の卒業証明書の他に大学院の修了証明書を提出してください。 なお，平成30年３月学部卒業（又は修士修了）見込みの者は，卒業（又は修了）見込証明書とします。
⑤	入学検定料振込金証明書	平成30年度島根大学「入学検定料」振込依頼書等用紙の所定欄に必要事項を記入し，銀行・信用金庫・農協等の金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局を利用される場合は，「通帳及び印鑑」が必要です。現金による振込はできません。）で，取扱期間中（平成29年８月21日(月)～平成29年９月１日(金)）の窓口取扱時間内（15時00分まで）に同用紙にて，入学検定料30,000円を振り込んでください。(ＡＴＭ（現金自動預払機）は使用しないでください。) 振込手続後，窓口で返却された「Ⅲ票 振込金証明書（島根大学提出用)」を同封してください。 なお，以下の場合以外は，納入された入学検定料は，いかなる理由があっても返還することができません。 ①出願書類等を提出したが受理されなかった場合 該当者に連絡しますので，所定の期日までに手続を行ってください。 ②入学検定料を振り込んだが，島根大学に出願しなかった場合 ③入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合 上記②及び③については，本人の申出によって納入された入学検定料を返還することができますので，９月８日(金)までに財務部経理・調達課出納担当（電話0852－32－6029）へ連絡（土曜日，日曜日及び祝日を除く９時から17時までの間）してください。 なお，返還の手続を行う際に「Ⅱ票　振込金受取書（志願者保管)」及び「Ⅲ票　振込金証明書（島根大学提出用)」が必要となりますので，大切に保管しておいてください。これらの書類がないと振込事実の確認ができず，返還ができないことがあります。
⑥	推薦書 (社会人入試志願者のみ)	本要項添付の用紙にて，勤務先の所属長（又は出身大学，大学院の指導教員）が作成し厳封したものとします。
⑦	研究・臨床経験概要 (社会人入試志願者のみ)	本要項添付の用紙にて作成してください。
⑧	研究業績目録 (社会人入試志願者のみ)	本要項添付の用紙にて作成してください。
⑨	返信用封筒 (受験票送付用)	本要項添付の返信用封筒に，郵便番号，住所，氏名を明記し，532円分の切手を貼付してください。
⑩	あて名票 (合格通知書送付用)	本学からの通知が確実に届く郵便番号，住所，氏名を記入してください。
⑪	「在留カード」の写し	外国人の志願者は，「在留カード」の写しを提出してください。
⑫	受験許可書	大学院に在学中の者及び在職中の者は，所属長の受験許可書（様式自由）を必ず提出してください。

※本学大学院研究科修士課程修了者（平成30年３月修了見込みを含む）が博士課程に進学する場合は，入学検定料の支払は不要です。

（注意）

① いったん受理した出願書類等は，いかなる理由があっても返還しません。

② 出願書類に不備がある場合は，受理できません。

③ その他不明な点があれば前記⑶の「照会先」へ問い合わせてください。

⑸　障がい等を有する志願者との事前相談について

本学大学院に入学を志願する者で，障がい等（視覚障がい，聴覚障がい，肢体不自由，病弱，発達障がい，その他障がい等）があり，受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は，出願受付開始までに前記⑶の「照会先」へ相談してください。

4　入　試　方　法

⑴　入試方法

入学者の選抜は，学力検査，口頭試問，提出書類の審査を総合して判定します。

⑵　試験日程及び試験場

試　験　日　程	試　験　場
平成29年10月10日(火)	島根大学医学部 (出雲キャンパス)

⑶　試験科目等

試験科目等	試　験　時　間
外国語（英語Ａ）	１３：３０～１４：３０
外国語（英語Ｂ）	１４：４５～１５：４５
口頭試問	１６：１５～

（備考）

①　外国語（英語Ａ，英語Ｂ）の試験時間において，一般的な語学用辞書（医学専門辞書及び電子辞書は不可）の持込みを許可します。

②　口頭試問は，志望する専攻領域について行います。

③　口頭試問の期日は，上記を原則としますが，指定した期日に変更する場合があります。

5　合 格 者 発 表

発　表　日　時
平成29年11月７日(火)　11時

合格者本人には合格通知書を郵送します。

なお，電話等による合否の照会には応じません。

また，本学ホームページに合格者の受験番号を速報として掲載しますが，正規には通知書にて確認してください。

ホームページアドレス　　http://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/

6　入　学　手　続

合格者は，入学手続期間内に入学手続書類等を持参の上，入学手続を行ってください。詳細については，合格通知書送付の際に連絡します。

⑴　入学手続日

平成30年３月14日(水)・15日(木)　９時から17時まで

⑵　入学手続場所

島根大学医学部学務課入試・大学院担当（出雲キャンパス）

⑶　**入学料及び授業料**

①　入学料　　282,000円（予定額）

【注意事項】

入学手続時までに入学料の改定が行われた場合は，新入学料が適用されます。

本学大学院研究科修士課程を修了し，博士課程に進学する場合は，入学料の支払は不要です。

②　授業料

授業料は，入学後にお支払いただくことになります。

⑴　授業料の額　(前期分) 267,900円　(後期分) 267,900円　(年額) 535,800円

⑵　授業料のお支払方法

授業料のお支払は，預貯金口座からの「口座振替」を原則としています。

【注意事項】

入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合は，改定時から新授業料が適用されます。

7　入試成績の提供

入試成績を，次のとおり提供します。

⑴　**提供内容**

学力試験の得点及び総合順位（ランク区分）

⑵　**申請期間**

平成30年５月１日(火)～５月31日(木)

⑶　**申請方法**

申請は，医学部学務課入試・大学院担当へ直接来学又は郵送のいずれかの方法で行ってください。

⑷　**申請時必要書類**

①　入試情報提供申請書（次のいずれかの方法により取り寄せてください。）

ア　島根大学ホームページから印刷して使用してください。

イ　医学部学務課入試・大学院担当へ直接来学してください。

ウ　郵送の場合は，返信用封筒（長形３号，12㎝×23.5㎝の大きさのものに82円分の切手を貼り，郵便番号，住所，氏名を明記したもの）を同封し，「入試情報提供申請書請求」と明記したメモを添えて申し込んでください。

②　島根大学受験票

③　返信用封筒（長形３号，12㎝×23.5㎝）(郵送の場合のみ)

封筒には，必ず申請者本人の住所，氏名，郵便番号を明記し，簡易書留分の切手（402円分）を貼ってください。

⑸　**提供の決定通知**

提供申請の結果は，入試情報提供申請書の受理後30日以内に入試情報提供通知書により通知します。

⑹　**提供方法**

郵送又は申請者（受験者）本人に直接文書を交付することにより提供します。なお，直接来学する場合は，本人であることを証明できる書類の提示が必要です。

⑺　**申請及び提供場所**

〒693－8501　出雲市塩冶町89－1

島根大学医学部学務課入試・大学院担当

電話　0853－20－2083

入　学　案　内

1　目　　的

医科学専攻博士課程は，医学の専門領域及び関連領域で自立して独創的研究活動を行うに足る高度の研究能力，豊かな学識と人間性を備えた教育，研究の指導的役割を担う人材の育成を図るとともに，医療に求められる高度な専門知識・技術及び研究能力を備えた臨床医の育成を目的とします。

2　修業年限

修業年限は，４年を標準とします。

3　大学院設置基準第14条による教育方法の特例

社会人学生の就学を容易にし，広く社会のニーズに応えるべく，社会人入試枠を設け，社会人に配慮するとともに，大学院設置基準第14条の規定を活用した「昼夜開講制」を導入しています。

4　専攻の概要並びに研究指導教員及び主たる研究内容

医科学専攻博士課程

医科学の分野における世界に通用する医学研究者を養成するとともに，研究マインドを併せ持った優れた臨床医を養成することが，社会的に強く求められるようになってきています。本課程は，これらの社会からの要請に応えるため，次の４つのコースを設定し，より自由な科目選択が可能な教育課程の編成を基本方針としています。

1）研究者育成コース

医学の専門領域で自立して独創的研究活動を行うに足る高度の研究能力，豊かな学識と人間性を備えた教育，研究の指導的役割を担う人材を育成することを目的とし，幅広い概念，専門的知識ならびに方法論を含めた研究遂行能力を修得します。

研究指導教員（所属）	主たる研究内容
大谷　浩（発生生物学）	ヒト及び実験動物の正常及び異常発生に関する研究，発生工学，分子発生学
紫藤　治（環境生理学）	環境適応とその中枢機序，体温調節機序，発熱の機序，脳・循環領域での多価不飽和脂肪酸の生理機能解析と臨床応用
土屋　美加子（代謝生化学）	タンパク質の修飾による生体機能調節の分子メカニズム
浦野　健（病態生化学）	染色体ダイナミクスの制御機構，タンパク質の時空間挙動の可視化及びモノクローナル抗体を用いたバイオ医薬品開発
松崎　有未（腫瘍生物学）	高純度間葉系幹細胞を分離する技術の確立，未分化性維持に関わる特異的機能分子の同定，ＭＳＣ特異的レポーター遺伝子導入動物の作成と体内動態の解明
和田　孝一郎（薬理学）	生活習慣病の発症メカニズムの解明，および分子薬理学・病態薬理学を基にした新しい疾患治療法の開発
並河　徹（病態病理学）	多因子遺伝性疾患（生活習慣病）の遺伝解析，遺伝子探索

研究指導教員（所属）	主　た　る　研　究　内　容
丸　山　理留敬 （器官病理学）	病理診断精度の向上や悪性腫瘍治療に寄与するための，形態学的，免疫組織化学的及び分子生物学的研究
吉　山　裕　規 （微生物学）	ヒト腫瘍の発生に関与するウイルスと細菌の分子生物学的研究，混合感染におけるウイルスと細菌の相互作用と宿主応答変化の研究
原　田　　守 （免　疫　学）	癌に対する免疫応答と免疫療法に関する研究，自己免疫・移植免疫・アレルギーの病態と治療に関する研究
竹　下　治　男 （法　医　学）	ヒト体液中の遺伝マーカーの開発・応用を利用した法医鑑識科学的研究
神　田　秀　幸 （環境保健医学）	社会における健康リスクと関連要因に関する研究
津　本　周　作 （医療情報学）	医療情報学，特に医療分野への人工知能，データ工学，統計学的手法の応用，ラフ集合論，データマイニング，医療画像処理，医療設備学（特に通信環境と電気・電磁環境），医療管理学（医療安全管理，医療機器の動作安全管理）
杉　本　利　嗣 （内科学第一）	カルシウム・骨代謝，視床下部－下垂体系並びに糖代謝の調節機構の解明に関する基礎的・臨床的研究
木　下　芳　一 （内科学第二）	消化器疾患の病態の解明と診断・治療に関する基礎的，臨床的研究
山　口　修　平 （内科学第三）	脳血管障害の成因，病態，治療に関する研究，高次脳機能とその障害の臨床的，生理学的研究
田　邊　一　明 （内科学第四）	心不全の成因，病態，治療に関する研究．高齢者心臓弁膜症の診断，治療に関する研究．心臓超音波検査における新技術の応用に関する研究
礒　部　　威 (呼吸器･臨床腫瘍学)	臨床腫瘍学，呼吸器病学，抗がん薬ならびに分子標的治療薬の臨床薬理学的検討
森　田　栄　伸 （皮膚科学）	皮膚アレルギー疾患の病態解析と新治療法の開発，食物アレルゲンの構造解析，皮膚疾患の遺伝子解析，感染症
竹　谷　　健 （小児科学）	１．iPS細胞を用いた希少難病疾患の病態解明，創薬研究 ２．間葉系幹細胞などを用いた再生医療研究 ３．小児がんの病態解明
田　島　義　証 (消化器･総合外科学)	消化器・乳腺内分泌・小児疾患に関する臨床的・基礎的研究と低侵襲外科治療学
織　田　禎　二 (循環器･呼吸器外科学)	心臓外科，呼吸器外科，血管外科領域における低侵襲手術法の開発，臓器虚血，心不全に関する研究
内　尾　祐　司 （整形外科学）	運動器の損傷と修復及び再生
秋　山　恭　彦 （脳神経外科学）	脳血管障害の成因，病態，外科的治療に関する研究，中枢神経腫瘍の浸潤・増殖の制御と治療に関する研究
椎　名　浩　昭 （泌尿器科学）	泌尿器学の分子生物学，膀胱再生，薬剤耐性の機序

研究指導教員（所属）	主　た　る　研　究　内　容
堀　口　　淳 （精神医学）	内因性精神病及び老年期精神障害の臨床精神薬理学的･電気生理学的研究
京　　哲 （産科婦人科学）	婦人科悪性腫瘍の発生分子メカニズムの解明と分子標的治療の開発
川　内　秀　之 （耳鼻咽喉科学）	上気道の粘膜免疫，アレルギー疾患の制御，滲出性中耳炎の病態，頭頸部癌の集学的治療，内耳自己免疫病
北　垣　　一 （放射線医学）	画像診断法を用いた脳神経機構の研究，神経放射線診断学（特に認知症を呈する脳神経疾患）
猪　俣　泰　典 （放射線腫瘍学）	放射線有害事象の解明と防止に関する基礎的・臨床的研究 過酸化水素の放射線増感作用に関する臨床的研究
齊　藤　洋　司 （麻酔科学）	疼痛伝達とその制御機構，呼吸循環調節に関する研究
関　根　浄　治 （歯科口腔外科学）	細胞・分子生物学的アプローチによる口腔病変の診断と治療精度向上に関する総合研究
仁　科　雅　良 （救急医学）	救急医療と社会のかかわり
渡　部　広　明 （Acute Care Surgery講座）	重症外傷および急性腹症患者のdamage control surgeryに関する研究 重症外傷および急性腹症における循環モニタリングに関する研究 重症外傷患者における循環生理学に関する研究
長　井　　篤 （臨床検査医学）	細胞再生医療研究，神経幹細胞の分化・増殖機構に関する研究，アミロイドーシスの発症機構と診断に関する研究，生活習慣病の疫学研究
熊　倉　俊　一 （地域医療教育学）	血液学，がん遺伝子，臨床免疫学，感染制御，地域医療教育学，医学教育・シミュレータ教育，家庭医療学
石　橋　　豊 （総合医療学）	血管不全の病態解明に関する基礎的・臨床的研究
藤　村　洋　太 （総合医療学）	精神神経疾患の病態解明や新たな治療法の開発に関する基礎的・臨床的研究
廣　瀬　昌　博 （地域医療政策学）	医療システム･医療制度･医療活動と医療の経済性および質との関連性に関する研究，医療安全･感染対策等の病院組織横断的活動の医療経済学的検証
佐　倉　伸　一 （手術部）	局麻薬の神経毒性の解明と安全な区域麻酔法の開発，超音波画像を利用した周術期管理医学に関する研究
鈴　宮　淳　司 （先端がん治療センター） （再生医療センター）	包括的ながんの診断および治療方法に関する研究，臨床血液学，基礎的および臨床試験を含む新規抗がん薬ならびに治療法の開発
中　村　守　彦 （地域医学共同研究部門）	タンパク質の翻訳後修飾による細胞機能調節機構の解明と医・理工連携によるナノメディシン研究
松　本　健　一 （生体情報･RI実験部門）	細胞外マトリックスから細胞内への情報伝達機構の分子細胞生物学的研究，プロテオミクス的手法による病態の網羅的解析

2）高度臨床医育成コース

高度臨床医育成コースは，臨床と研究をバランスよく経験させ，双方の能力を兼ね備えた高度臨床医を育成するもので，認定医，専門医の取得を目的とし，病態生理，診断，治療，予防，手術技法，医療統計など高度な臨床医学の知識，技能，倫理観および臨床研究の遂行能力を修得します。

分野	研究指導教員	主たる研究内容
内科学	杉本利嗣 木下芳一 山口修平 田邊一明 礒部威 石橋豊 鈴宮淳司	内科領域における各種疾患の病態解明とその臨床応用，放射線やＭＲ，内視鏡や超音波等を用いた診断治療法の開発，リハビリテーションや再生医療，ＱＯＬ評価法の開発 下記の内科領域における各種の臨床的研究 内分泌代謝疾患，糖尿病，骨粗鬆症，生活習慣病， 血液疾患，造血器悪性腫瘍や癌の治療，造血幹細胞移植術， 消化器疾患，肝疾患， 脳血管障害，神経内科疾患，膠原病，免疫疾患， 腎臓疾患，呼吸器疾患， 動脈硬化，循環器疾患 （取得専門医）認定内科専門医，内分泌代謝科専門医，糖尿病専門医，血液専門医，消化器病専門医，消化器内視鏡専門医，超音波専門医，肝臓学会専門医，神経学会専門医，老年病専門医，脳卒中専門医，リウマチ専門医，腎臓専門医，透析専門医，呼吸器専門医，気管支鏡専門医，アレルギー学会専門医，感染症専門医，循環器専門医，消化管学会専門医等
皮膚科学	森田栄伸	炎症性皮膚疾患，先天性皮膚疾患，皮膚腫瘍，アレルギー性皮膚疾患，皮膚感染症，皮膚再建（上記のうち１項目を選択）に関する臨床研究。生化学的，免疫学的あるいは分子生物学的手法を用いて臨床材料を解析し，病因，病態の解明，治療法の向上を目指す。 （取得専門医）日本皮膚科学会専門医等
小児科学	竹谷健	小児科各領域（神経，先天異常，循環器，血液腫瘍，免疫アレルギー，内分泌，感染症，呼吸器，腎臓，消化器，新生児等）の疾患の診療および小児保健活動を通じて，疾患の病態，病因解析，治療法向上，予防法の開発に関連する臨床研究を行う。 （取得専門医）日本小児科学会専門医等
外科学	田島義証 織田禎二	外科領域における各種疾患の診断法，手術法，治療法の開発。術後追跡調査の評価法 胃・食道・大腸・肛門疾患 肝臓・膵臓疾患 内分泌・乳腺疾患 小児の外科的疾患 循環器疾患 呼吸器疾患 （取得専門医）消化器外科専門医，小児外科専門医，大腸肛門病学会専門医，心臓血管外科専門医，呼吸器外科専門医等
整形外科学	内尾祐司	膝関節固有感覚獲得のための新しいリハビリテーション法の開発，関節外科及び脊椎外科領域における最小侵襲手術法の開発，新しい腱縫合法の開発。骨スクリューによる骨軟骨骨折治療法の開発，変形性膝関節症の超早期診断，再生医学 （取得専門医）日本整形外科学会専門医等
脳神経外科学	秋山恭彦	脳神経外科領域（脳血管障害，脳腫瘍，機能的神経外科，神経外傷，中枢神経感染症）における各種疾患の診断方法，治療法と新しい治療方法の開発。新しい脳血管内治療，神経内視鏡，脳神経外科手術法の開発 （取得専門医）日本脳神経外科学会専門医，日本脳卒中学会専門医，日本脳神経血管内治療学会専門医等

分野	研究指導教員	主　た　る　研　究　内　容
泌尿器科学	椎　名　浩　昭	術後ＰＳＡ再発を予測可能な分子生物学的マーカーの解析 Acelluar matrixを用いた尿路再生の研究 慢性腎不全克服に向けた治療戦略 （取得専門医）日本泌尿器科学会認定専門医，日本泌尿器科学会／日本Endourology・ESWL学会認定腹腔鏡認定医，透析専門医，腎移植認定医，移植認定医等
精神医学	堀　口　　淳	精神科薬物療法，睡眠学およびアルツハイマー病の臨床的研究 （取得専門医）日本老年精神医学会専門医，日本睡眠学会睡眠医療認定医師，日本総合病院精神医学会専門医，日本臨床精神神経薬理学会専門医，日本精神神経学会専門医等
産科婦人科学	京　　哲	腫瘍，生殖内分泌，周産期の３つの領域において，一貫した指導体制の下で，病態メカニズムの解明を目指した臨床，基礎研究を幅広く展開し，それに基づく新たな治療法の探索までを試みる。最終的には婦人科腫瘍，生殖内分泌，周産期，内視鏡手術のサブスペシャルティーの専門医取得を目指す。 （取得専門医）産科婦人科専門医，超音波専門医，母体・胎児専門医，婦人科腫瘍専門医，婦人科内視鏡学会認定医等
耳鼻咽喉科学	川　内　秀　之	耳鼻咽喉科疾患の診断に関わる最新の機器や使用法についての知識や技術の習得と新たな手法の開発，高齢化社会を見据えた耳鼻咽喉科領域疾患の疫学的研究，耳鼻咽喉科領域の外科的治療における新たな機器や手術法の開発，頭頸部領域悪性腫瘍の診断と集学的治療における新たな手法・治療法の開発 （取得専門医）耳鼻咽喉科専門医，気管食道科専門医等
眼科学	（選考中）	
放射線医学	北　垣　　一 猪　俣　泰　典	新しい放射線診断法の開発，新しい放射線治療法の開発，新しいIVR deviceの開発，悪性腫瘍の画像診断，放射線治療，ＩＶＲ （取得専門医）日本医学放射線治療専門医，日本核医学会専門医，ＰＥＴ専門医，ＩＶＲ学会認定医・指導医等
麻酔科学	齊　藤　洋　司 佐　倉　伸　一	硬膜外麻酔と全身麻酔の相互作用を応用した新しい麻酔法の開発，新しい硬膜外鎮痛法の開発，局麻薬の神経毒性の解明と新しい局所麻酔薬の開発，麻薬の鎮痛効果と耐性形成の制御に関する研究，麻酔と換気応答・循環応答に関する研究 （取得専門医）日本麻酔科学会認定医・専門医，日本ペインクリニック学会認定医，日本集中治療医学会専門医，日本救急医学会認定医等
歯科口腔外科学	関　根　浄　治	口腔病変の一貫治療　－診断から形態再建（骨移植・仮骨延長法，各種皮弁），インプラントによる口腔機能再建ならびにオーラルリハビリテーションに関する臨床研究－ （取得専門医）日本口腔外科学会専門医，日本臨床細胞学会専門医，日本顎顔面インプラント学会専門医，がん治療認定医（日本がん治療認定医機構），日本口腔腫瘍学会口腔がん専門医，国際顎顔面口腔外科専門医等
臨床検査医学	長　井　　篤	臨床検査を用いた各種疾患の新規診断法の開発。生活習慣病の疫学的分析。超音波，磁気刺激，細胞再生医療，遺伝子導入を用いた治療法の開発。 内分泌代謝疾患，糖尿病，生活習慣病，血液疾患，造血幹細胞移植術，消化器疾患，肝疾患，神経内科疾患，呼吸器疾患，動脈硬化，循環器疾患 （取得専門医）臨床検査専門医，管理医等

分野	研究指導教員	主　た　る　研　究　内　容
救急医学	仁　科　雅　良 渡　部　広　明	重症外傷患者における循環生理学の研究，Damage control surgeryの臨床的効果に関する研究，重症外傷における集学的治療戦略効果の検証に関する研究，病院前外傷診療と患者予後に関する研究，Damage control surgeryにおける新たな手技の開発 （取得専門医）救急科専門医，日本外傷学会専門医
病理学	並　河　　徹 丸　山　理留敬	１）病理診断学における方法論の開発とその応用 免疫組織化学，マイクロダイセクションやＰＣＲを用いた遺伝子診断，デジタル技術を応用した形態計測法，組織診断における診断一致率の評価法とそれを応用したquality controlなど ２）特定の症例収集とそれを利用した臨床疫学的研究 （取得専門医）病理専門医，細胞診専門医等

３）地域がん専門医育成コース

地域がん専門医育成コースは，地域のがん医療の均てん化を図るために，地域に多い高齢者がん医療に精通し，地域連携を推進し，地域貢献への志向を有する全人的ながん診療専門医を養成すると共に，研究志向（リサーチマインド）を有し，臨床試験を計画し，山陰地区からエビデンスを発信できる能力を育成します。がん診療の地域貢献の実績を積み，「がん薬物療法専門医(臨床腫瘍学会)」，「がん治療認定医（日本がん治療認定医機構)」，「放射線治療専門医」，「婦人科腫瘍専門医」などのがん専門医資格の取得を目的とし，それぞれの認定基準が求めるがんに関する高度な臨床および研究能力を修得します。

なお，本コースは平成24年度文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」に採択された，順天堂大学，島根大学，鳥取大学，岩手医科大学，東京理科大学，明治薬科大学，立教大学の７大学共同事業である「ＩＣＴ（Information and Communication Technology）と人で繋ぐがん医療維新プラン」の地域がん医療に貢献するがん専門医育成コースに該当します。

分野	研究指導教員	主　た　る　研　究　内　容
がん地域医療学	礒　部　　威（呼吸器･臨床腫瘍学） 猪　俣　泰　典（放射線腫瘍学） 鈴　宮　淳　司（腫瘍センター） 田　島　義　証（外科学） 熊　倉　俊　一（地域医療教育学） 石　橋　　豊（総合医療学）	地域に多い高齢者がん治療学として，ＱＯＬ（生活の質）や副作用対策についての臨床研究，医療費に関するがん医療社会学，地域での終末期医療や緩和医療学に関する研究
基礎腫瘍学	土　屋　美加子（生化学） 浦　野　　健（生化学） 並　河　　徹（病理学） 丸　山　理留敬（病理学） 吉　山　裕　規（微生物学） 原　田　　守（免疫学） 松　本　健　一（生体情報･RI実験部門）	腫瘍生化学，がん細胞生物学，がん薬物療法，腫瘍の遺伝解析，腫瘍病理，腫瘍免疫，がん疫学などのがんに関する基盤研究
臨床腫瘍学	杉　本　利　嗣（内科学） 木　下　芳　一（内科学） 山　口　修　平（内科学） 礒　部　　威（呼吸器･臨床腫瘍学） 森　田　栄　伸（皮膚科学） 北　垣　　一（放射線医学） 猪　俣　泰　典（放射線腫瘍学） 長　井　　篤（臨床検査医学） 鈴　宮　淳　司（腫瘍センター）	造血器腫瘍，消化器がん，肺がん，皮膚腫瘍，小児科領域の悪性腫瘍の診断と薬物療法・造血幹細胞移植および病因解析，治療法の改善，放射線画像診断・放射線治療，腫瘍マーカーなどの診断法の開発，がん分子診断学，臨床遺伝学に関連する臨床研究

分野	研究指導教員	主　た　る　研　究　内　容
臨床腫瘍学	田　島　義　証 (外科学) 織　田　禎　二 (外科学) 内　尾　祐　司 (整形外科学) 秋　山　恭　彦 (脳神経外科学) 椎　名　浩　昭 (泌尿器科学) 京　　哲 (産科婦人科学) 川　内　秀　之 (耳鼻咽喉科学) 関　根　浄　治 (歯科口腔外科学)	全身の臓器に発生する腫瘍に対する集学的治療戦略の考案（術前・術後化学療法を含む。）および病因解析，治療法の改善に関連する臨床研究
緩和医療学	堀　口　　淳 (精神医学) 齊　藤　洋　司 (麻酔科学)	サイコオンコロジー，がん性疼痛対策，がん緩和医療に関する臨床研究

4）地域医療・地域包括ケア指導者育成コース

地域医療・地域包括ケア指導者育成コースは，地域医療・地域包括ケアにおいて臨床医ならびに医療スタッフとしての高度な専門知識・技能を有するとともに国際的視野とリサーチマインドを備え，将来，地域医療あるいは地域包括ケアの担い手を指導・養成することができるリーダー(指導者）を育成することを目的としています。

地域医療あるいは地域包括ケアに関連する多くの医療・医学の分野より個別に研究テーマを設定して研究を行い，学位取得を目指します。生活習慣病や加齢と動脈硬化，がん，認知症など地域の医療に密接に関連する疾患についての基礎・臨床研究や疫学研究，または，本学の研究推進プロジェクトである疾病予知予防研究や生活習慣病等コホート研究と連携した研究とともに，地域包括ケアにおける課題や問題点，日常のケアに関連する臨床研究など，希望に応じたテーマについて研究を行います。また，指導者として活躍するために必要な教育（人材育成）技能や医療経済・政策についての専門的知識を修得するとともに，海外研修等を通じて国際的視野の涵養を図り，世界に通用する人材を育成します。

なお，本コースは平成25年度文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業」に採択された。島根大学，神戸大学，兵庫医科大学の３大学共同事業である「地方と都会の大学連携ライフイノベーション」の地域医療・地域包括ケア指導者育成コース（28年度より総合診療医指導者育成コースから改称）に該当します。

分野	研究指導教員	主　た　る　研　究　内　容
地域医療学	熊　倉　俊　一 (地域医療教育学) 石　橋　　豊 (総合医療学) 廣　瀬　昌　博 (地域医療政策学)	地域の高齢化に伴い増加する生活習慣病や動脈硬化性疾患，認知症，筋骨格系疾患，あるいはがんなどについての疫学研究や臨床研究，病因病態の解明から治療方法の確立に資する研究 地域包括ケアにおける課題や日常のケアに関連する臨床研究をテーマに，地域の行政・医療機関等と連携して，地域のニーズに応え，地域に還元する研究を行う。

5）医理工農関連分野の授業科目の設置について

最近の医学医療の進歩は著しく，特に材料のみならず理工学の主要技術が医学医療に広く応用されています。このような観点より，本研究科におきましては医療技術・医療機器開発等を行う上で必要な医学に関する知識や，最新医療を支える医療技術・医療用機器に関する原理や基礎知識を修得するために，平成20年度より総合理工学研究科と連携した「医・理工」関連授業科目を

開設しました。さらに平成21年度より，本学の特徴的な研究分野である「水」を含む資源循環型社会の構築に関する研究の視点を加えるため，生物資源科学研究科を含む新たな教員の参加を得て，「医理工農」関連授業科目として内容を強化しました。科目等に関しましては下記にご照会ください。

島根大学医学部学務課入試・大学院担当
〒693-8501　出雲市塩冶町89-1
電話　0853-20-2086
電子メール　msa-daigakuin@office.shimane-u.ac.jp

5　履修方法

必修科目２単位及び選択必修科目３単位並びに選択科目25単位を含む計30単位以上を修得します。ただし，地域がん専門医育成コースの選択科目は，地域がん専門医育成コース専門科目25単位を含むものとします。また履修科目の選定は，研究指導教員と十分協議して選定します。高度臨床医育成コースにおいては，個々の学生が想定する専門医・認定医は極めて多様であるため，各臨床専門分野の専門家である指導教員が，各学生が取得を念頭に置く専門医・認定医の基準に的確に沿うように個々の専門医・認定医に特化した履修モデルを明示し，十分な相談を行った上で，各指導教員の責任において科目選択を指導します。研究者育成コースについても同様に個々の学生の多様な目的に柔軟に対応する履修モデルを明示し，科目選択を指導します。

6　学位授与

⑴　学位は，博士（医学）です。

⑵　博士の学位は，大学院に４年以上在学し，30単位以上を修得し，かつ，学位論文の審査及び最終試験に合格した者に授与します。ただし，在学期間に関しては，優れた研究実績を上げた者については３年以上在学すれば足りるものとします。

⑶　高度臨床医育成コース及び地域がん専門医育成コースの場合は，所属分野の専門医（又は認定医）の取得が必要となります。

7　長期履修制度

長期履修制度とは，職業を有している人などで研究時間が十分に取れず標準の修業年限では修了することが困難な人が，修業年限を超えて長期にわたって計画的に教育課程の履修を行う制度です。

⑴　長期履修を申請することができる人

①職業を有している人

②育児，親族の介護等の特別の事情のある人

⑵　長期履修の期間

長期履修が認められる期間は年単位で，標準の修業年限の２倍の年数を超えることができません。

４年→５年～８年

⑶　授業料

授業料は，通常の授業料の年額に標準修業年限を乗じた額を長期履修期間の年数で除した額を毎年納入します。

（通常の年額授業料×４年）÷（５年～８年）＝長期履修の年額授業料

例１）５年の長期履修の場合　535,800円×４年÷５年＝428,640円（年額）

例２）６年の長期履修の場合　535,800円×４年÷６年＝357,200円（年額）

⑷　**申請手続**

①申請時期

入学手続期間内

②提出書類

ア　長期履修申請書

イ　在職証明書（職業を有している人）

ウ　その他大学院が必要として求める書類

⑸　**その他**

長期履修を希望される方は，入学手続時にご相談ください。

相談窓口

島根大学医学部学務課入試・大学院担当

〒693-8501　出雲市塩冶町89-1

電話　0853-20-2083

電子メール　msa-daigakuin@office.shimane-u.ac.jp

8　入学料・授業料の免除及び徴収猶予制度

入学料については，経済的理由によって納入が困難であり，かつ学業優秀であると認められる者，あるいは，特別の事情（入学前１年以内に，入学する者の学資負担者が死亡し，又は入学する者もしくは学資負担者が風水害等の被害を受けた場合等）によって納入が困難であると認められる者に対して，その全額又は半額が免除される制度及び徴収を猶予される制度があります。

授業料については，全額又は半額が免除される制度があります。

9　奨学金制度

【日本学生支援機構奨学金】

学業成績，人物とも優れた学生で，経済的理由によって修学困難な方には，選考の上，奨学金が貸与されます。

平成29年度貸与月額

■第一種奨学金（無利子）　80,000円又は122,000円

■第二種奨学金（有利子）　(年３％を上限とする利息付，在学中は無利息)
50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円
の５種類から貸与額を選択

10　学生教育研究災害傷害保険

教育研究活動中及び通学中等に傷害を被った場合あるいは，他人に対する賠償責任が発生した場合の補償制度で，医学部では学生全員が加入する保険です。

11　個人情報の取扱い

入学志願者・受験者の個人情報については，次のとおり取り扱います。

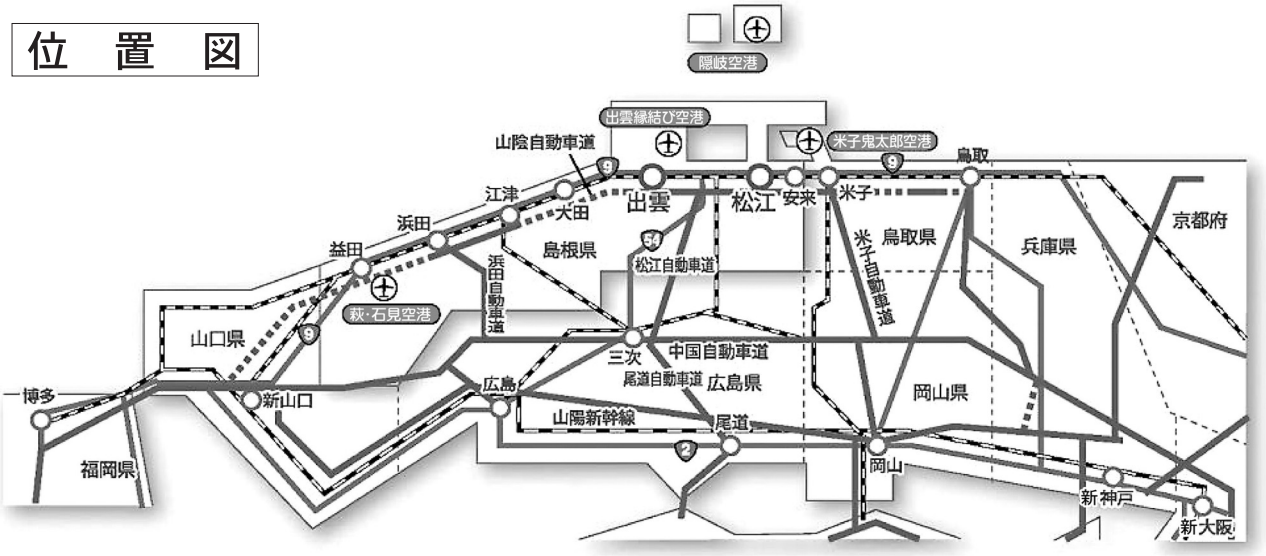
出願書類等に記載された個人情報（氏名，生年月日，性別その他の個人情報等）は，入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。

また，同個人情報は，合格者の入学後の教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志望動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

島根大学における個人情報の取扱いについては下記のとおりです。

http://www.shimane-u.ac.jp/introduction/information/personal_data/personal_data02.html

位　置　図



■交通案内

出雲キャンパス

空路

東　京（羽田）	→ 出雲	……約１時間20分
名古屋（小牧）	→ 出雲	……約１時間
大　阪（伊丹）	→ 出雲	……約１時間
福　岡	→ 出雲	……約１時間５分

※出雲空港から空港連絡バス出雲市駅行（約25分）ＪＲ出雲市駅下車

ＪＲ

東京 → 岡山 → 出雲市	……約６時間30分
大阪 → 岡山 → 出雲市	……約３時間50分
岡山 → 出雲市	……約３時間
福岡 → 岡山 → 出雲市	……約４時間50分

高速バス

東京（渋谷）→ 出雲	……約11時間20分
名古屋 → 出雲	……約10時間
大阪（梅田）→ 出雲	……約５時間35分
京都 → 出雲	……約５時間50分
神戸（三宮）→ 出雲	……約５時間20分
岡山 → 出雲	……約４時間
広島 → 出雲	……約３時間
福岡 → 出雲	……約９時間10分

ＪＲ出雲市駅より

一畑バス

出雲市駅・上塩冶車庫行　島根大学病院下車
……約10分

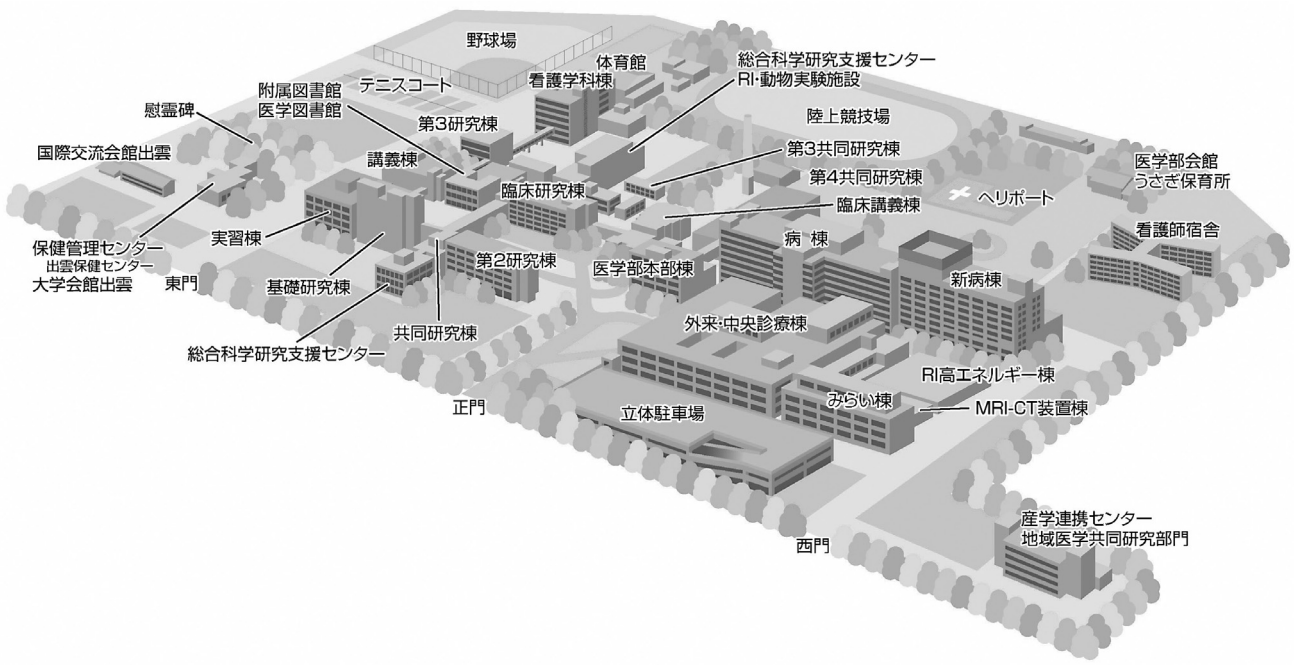
出雲須佐行　島根大学病院下車（２番のりば）
……約10分

※須佐行は，朝夕の便で経由しない便もありますのでご確認ください。

徒歩　ＪＲ出雲市駅南口から徒歩25分

※出雲キャンパスは，松江市内からは１時間以上要しますので，宿泊される場合は出雲市内の宿泊施設を利用してください。

建物配置図


野球場
体育館
看護学科棟
総合科学研究支援センター
RI・動物実験施設
テニスコート
附属図書館
医学図書館
慰霊碑
第3研究棟
陸上競技場
国際交流会館出雲
講義棟
第3共同研究棟
第4共同研究棟
医学部会館
うさぎ保育所
臨床研究棟
ヘリポート
臨床講義棟
看護師宿舎
実習棟
病　棟
保健管理センター
出雲保健センター
大学会館出雲
東門
第2研究棟
医学部本部棟
新病棟
基礎研究棟
外来・中央診療棟
共同研究棟
総合科学研究支援センター
RI高エネルギー棟
正門
立体駐車場
みらい棟
MRI-CT装置棟
産学連携センター
地域医学共同研究部門
西門